

アンジュール いつの日か…
unjour
 いつもどこかで素敵な出会いを

2025
春



家族葬

会員様から頂いた家族葬に関連する疑問を
項目別にわかりやすくまとめました。

読者プレゼント
 同封のハガキに
 ご意見・ご感想・質問など
 お気軽にお寄せください。
**味百珍かさいの
 特選詰め合わせ**
 抽選で**20名様**に
プレゼント

応募締切 令和7年4月30日(水)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

セレモニー会館兼六



セレモニー会館 兼六西泉

〒921-8043
金沢市西泉4丁目85番地
☎076-241-4949



セレモニー会館 兼六駅西

〒920-0024
金沢市西念4丁目26番15号
☎076-234-7744



セレモニー会館 兼六城北

〒920-0842
金沢市元町1丁目8番20号
☎076-252-9999



セレモニー会館 兼六笠舞

〒920-0965
金沢市笠舞3丁目4番3号
☎076-224-8700



セレモニー会館 兼六扇が丘

〒921-8812
野々市市扇が丘33番19号
☎076-248-0005

兼六互助センターからのお願い

■ご住所・ご連絡先が変わられた会員様へ
住所等変更をお知らせください

お電話またはEメールにて受け付けております。

☎(076)242-0612
 Eメール: muraigrp@po.incl.ne.jp

読者プレゼント

同封のハガキにご意見
ご感想・質問などお気軽にお寄せください。



笠井食品株式会社より
味百珍かさいの特選詰め合わせ
 抽選で**20名様にプレゼント**

応募締切 令和7年4月30日(水)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

編集後記

以前から皆様より、家族葬を取り上げて欲しいとご要望が多数あり、今回は当社が普段行っている内容の家族葬の実情を取り上げました。

なので、他社様が行っている内容と違う場合もありますので、その点につきましてはご容赦くださいませ。

なお、葬儀費用につきましては、事前相談にて詳しくご説明いたしますので、お気軽にお問い合わせくださいませ。ご自宅、職場、会館等どこへでもお伺い致します。

ご準備からお見送りまで

家族葬ならではのポイントをわかりやすくご紹介

家族葬とは

家族葬は、親しい家族やごく近しい親族のみで執り行う葬儀のことを指します。一般的な葬儀とは異なり、参列者の制限を設けることで、故人とのお別れをゆっくりと過ごすことができます。

家族葬の特徴

- ・ 少人数でゆっくりとしたお別れができる
- ・ 一般会葬者を招かないため、対応の負担が軽減される
- ・ 形式にとらわれず、自由な演出が可能

新聞のお悔みの出し方

新聞のお悔み掲載は、葬儀会社がお悔み情報をどのように出されるか、ご遺族様に確認し、一般葬であれば通夜の日の朝刊に掲載します。石川県では北國新聞、中日新聞、読売新聞の三社に依頼します。

家族葬の場合では、①葬儀の翌日以降に葬儀終了の掲載をするか、②全く掲載しないかのどちらかになりますが、①の場合は、後日ご自宅にご弔問の方が来ら

れるのでその対応が必要になります。

開式時間

一般葬も家族葬も通夜と葬儀の開式時間は、ご遺族の予定・火葬場の予約状況・お寺様や式を執り行う方の都合・式場の状況によつて決めます。ただし通夜は火葬場が関係ないので、家族葬の場合は開式時間を一般的な午後7時ではなく、早めの午後5時や6時などから執り行う方が多くなってきました。また、通夜の式は執り行わず、家族だけで過ごし、葬儀の

お寺様などの式次第について

家族葬も一般葬も、お寺様などの式次第やお参りに基本的な違いはありません。またお布施の金額も家族葬だからといって基本的に変えることは無いです。ただしお寺様のお勤めする人数は一般葬に比べると少数でされる事が多いのですが、必ずお寺様とご相談なさって下さい。

ご安置場所への搬送について

最近では御自宅への搬送ではなく、葬祭会館へ直接搬送する事が多くなってきました。家族葬で、どこにも知られたくない場合は、近所の方にも気付かれないように会館へ直接搬送することをお勧めします。

会社・町会への案内

家族葬を行う場合、お勤め先や町会にどのようにお参りしてほしいかを伝える必要があります。特に、香典を受け取るかどうか、式に参加してよいかなど、事前に丁寧な説明しておくことが大切です。

- ・ 社内関係者への連絡方法（社内メールや掲示板など）
- ・ 町会・ご近所への通知の仕方（口頭や回覧板）
- ・ 家族葬のため一般会葬者を辞退する場合の伝え方
- ・ 香典や供花の受け取り可否についての明確な案内

ご遺影について

最近では、スマートフォンで撮影した写真を遺影として使用することが増えています。美しく仕上げるためには、できるだけ高画質のデータを用意し、最低でも1メガピクセル以上の画像が推奨されます。

従来は四切（よつぎり）サイズの遺影を作成し、



み執り行う葬儀も最近ではあります。

打合せ

一般葬であれば2時間ほどの時間が必要ですが、家族葬の場合ですと、1時間もかからずに終わる事も多いです。

家族葬の特徴としては、返礼品の準備や受付に関しては不要な場合もあり、準備されてもわずかな数です。また、生花や供物などの数はかなり少ないですし、名札を付けないことの方が多くので、誰が何をお供えするのか確認する手間も省けます。焼香の読み上げもしないことがほとんどで、式の最後の挨拶も省く方が多いです。さらに料理に関しても、コロナの時期を経てから一般葬でもお弁当形式が多くなり、中陰の御膳（お斎）の出欠や座席順など準備することが大幅に減りました。

さらに事前相談をしているのなら、よりスムーズな打合せになります。



火葬場へのバス

火葬場に行く際は霊柩車とご遺族、ご親族が往復するマイクロバスなどをご用意しますが、最近では霊柩車とマイクロバスが一体化しているバス型霊柩車という車両を使用する方が増えてきました。大切な故人様と最後のドライブを霊柩車に同乗する喪主様だけではなく、ご遺族、ご親族の皆様も一緒出来ますので、選ばれたお客様にも大変喜ばれております。

納骨後には仏間の鴨居（かもい）に並べる家庭が多くなりました。しかし、近年では生活スタイルの変化に伴い、四切サイズの半分程度のキャビネサイズの写真を選び、仏間のない家庭では普段の生活空間に飾るケースも増えています。

また、額縁の選択肢も多様化しており、従来の黒色に加え、ラベンダーやシルバーなどの明るい色を選ぶ方も増えています。

